

自己評価について

A:十分できた B:大体できた C:あまりできなかった D:全くできなかった

I 学校の建学の精神・校訓・教育目標 A

今年度は体育祭や学園祭等においては、生徒の自主的・主体的な取り組みを奨励し、生徒たちもその期待に大いに答えてくれた。校訓・建学の精神はすべての教育活動の中で、十分浸透している。

教育目標については、校訓や建学の精神と併せて、様々な場面で確認している。

II 中高グランドデザイン B

中高の教育指針として学校案内への掲載、学校公開などで丁寧に説明した。この方針に従ってそれぞれの部署が、グランドデザインを具現化する方針立てをし、実践してきた。

III 学習指導

(1)専門性を高め、教科指導力を向上させる B

(2)生徒の学習意欲を喚起できる、生きた教科指導をする B

(3)生徒の進路達成欲求に答えられる、受験指導能力を身につける B

(4)学習習慣作りのための具体的展開を実行する B

学校内での授業が困難な状態の場合は、オンライン授業対応をした。平常の授業形態の中で、丁寧な教育実践ができた。

私学にあっては「魅力ある授業・力をつける授業」を展開することが、生き残りのための必要条件となる。そのため、教員個々人の教科指導に対する意識を向上させ、魅力ある授業者となるための、意識改革と研鑽を積むことが必要となる。平常の授業に加え、朝学習や講座、予備門などをより充実させていくことが必須である。次年度全校上げて、改善のための取り組みを行う。

中学 Eminence プログラムを質・数ともに充実させることが学校として最重要な課題である。将来高校へ上がってくることを踏まえて、よりよい取り組みができるよう各部署で検討し実践していく。

IV 生徒指導 「時を守り 場を清め 礼を正す」

(1)挨拶の励行 A

(2)清掃の充実 A

(3)時間の厳守 A

(4)規範・規定遵守の徹底 B

クラブ活動生徒を中心に挨拶の徹底がなされており、自ずと他の生徒たちも挨拶をしつかりできるようになっている。学年集会での意識付けも丁寧に行っており、学校全体として規律ある生活規範が保たれている。学校全体の清掃については校務が担当しているが、教室内や廊下については清掃が行き届いている。

生徒指導事項に対する対応については、スクールコンプライアンスを再確認し、それぞれの教員が丁寧に対応することが求められている。報告・連絡・相談の徹底や管理職・生徒指導部・学年・保護者の連携をしっかりとることを心がけた。

学校の規範や規則についてはその内容を吟味し、現状に遇わないものは大きく変更した。特に、携帯電話の扱い等については生徒の意見を吸収しながら、新しい方向性を提示した。携帯に関わる生徒指導事項が起きたが、学校として適切に対応し、生徒たちに自ら考える機会を多く与えることができた。

V その他（次年度に向けて）

- ・以前から行われてきたこと慣習として行われてきたこと、すべての学校業務を根本から見直し、自分たちでしっかり考え、新しい教育活動を展開する
- ・構造化は12月中にめどを立てて組み立てを行った。早めの引き継ぎをし、3月から新年度の方針立てを行えるようにした
- ・学校行事の精選と企画の見直しを行う
- ・スクールコンプライアンスの研修を実施する
- ・生徒募集・広報戦略の強化を図る
- ・校務運営組織の改善を図り、組織の効率化・業務の見直しをする
- ・クラブ募集の充実を図る
- ・中高大の連携を強化する（特に社会学部・短大保育科）
- ・一部校舎のクーラー設置を実行。他の場所については長期スパンで考える
- ・新入生の奨学金の点検
- ・クロムブック導入に伴う、実践・研究